

事務事業名		中山間地域グラウンドワーク活動等支援事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	3 魅力と活力ある産業づくり					担当組織	担当部	産業文化部	担当課	農政課
	政策	1 産業振興で活力のあるまちづくり					担当係	農業振興係	担当課長名	藤掛 広行	
	施策	1 都市型農業の推進と中山間地域の活性化					新規事業・継続事業		新規事業		
	基本事業	3 中山間地域の活性化					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	8827	一般	6	1	3	中山間地域グラウンドワーク活動等支援事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		国県補助事業						
	事業区分		任意的事業・義務的事業		任意的事業						
事業計画	単年度のみ		事業期間		H26年度		根拠法令 条例等		中山間地域グラウンドワーク活動等支援事業実施要領		
	実施方法		直営								
	事業分類		支援事業								
	リーディングプロジェクト		該当なし								
市長マニフェスト		3-7									

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
中山間地域の農地の保全利活用及び地域の活性化のため、グラウンドワーク活動をはじめとした地域住民活動の取り組みへの支援を行う。			(市の活動) 船越北町会へ補助金を支出した。 (船越北町会の活動) ・先進地視察研修(こんにやく生産農家) ・共同作業(圃場の草刈等) ・遊休農地へのれんげ・菜の花の播種 ・そばまつりの開催 ほか							
活動指標			単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
活動回数			回		7					
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
(補助対象団体) 船越北町会			対象指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
対象団体数			団体				1			
目的 ③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
遊休農地の利活用及び地域住民活動を活性化させる。			成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
活動費			円				900,998			
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
中山間地域が活性化されている。			上位成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
農産物直売所売上額			千円				983,179			

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円		600				
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円						
	事業費計(A)	千円	0	600	0	0	0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
					補助金	600		
	人件費	人		1				
のべ業務時間	時間		100					
人件費計(B)	千円	0	394	0	0	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	994	0	0	0		

事務事業名	中山間地域グラウンドワーク活動等支援事業	担当部	産業文化部	担当課	農政課	担当係	農業振興係
-------	----------------------	-----	-------	-----	-----	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	中山間地域の過疎化・高齢化が進み地域の活力が低下する中、その地域における農地等の保全対策が重要である。このため、県の補助事業として、グラウンドワーク活動をはじめとした地域住民活動の取り組みに対して支援を行う。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	過疎化・高齢化は進行する傾向にあり、中山間地域の農地等の保全対策の重要性は益々高くなると考えられる。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
	新規事務事業により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	遊休農地の利活用は地域の活性化につながる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	中山間地域の地域住民活動の活性化と併せた農地等保全対策に必要であり、県の補助事業として実施する。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	県の要領において対象と意図は定められている。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	県の補助要項(中山間地域グラウンドワーク活動等支援事業実施要領、中山間地域グラウンドワーク活動等支援事業費補助金交付要領)に合った事業を実施する。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	要項に基づき費用負担をしている。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
H26年度のみのものである。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
事業終了 * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持			×																			
	低下		×	×																			